はるっこだより

病児保育所 はるっこ

2015冬号

2015・1・9

七飯町 本町 6丁目7-42
はるこどもクリニック隣
TEL 0138-65-1500
いちごちゃん

2015年、新しい年の始まりです。みなさんご家族と楽しいお正月を過ごされたことと思います。お正月、テレビを楽しまれた方も多いのではないでしょうか。私は、箱根駅伝もさることながら、もうひとつ、新鮮だったテレビがあります。それは映画「世界の果ての通学路」です。ご覧になった方いますか？私の大好きな竹さん※から教えてもらって観ました。海外の子どもたちが、何時間もかけ自分の足で、まさしく野を越え、山を越え、ただ「学びたい！」という一心で登校する姿を映したものでした。両親が作ってくれた車椅子を押しながら登校する3兄弟も出てくるのですが、その笑顔が底ぬけに明るいんです。どんな困難な状況でも、おもしろいこと♪楽しいことを♪つまり遊びに変えてしまう力を子どもはもっているのですね！そんな笑顔に今年もいっぱいあいたいな。はるっこでいっぱい遊ぼう！今年もどうぞよろしくお願いします

※竹さん：竹内成光（たけうちしげみつ）さん　群馬県川場村在住＊興味のある方はHP「あるきんぐらうんど」ブログ or「森が好き」検索してみてください

はるっこ ある日のスナップ　日常のひとこまをお伝えします♪

あのね…

お昼やおやつの時間はお話しがはずみます　こんなやりとりがありました。

5歳Aくんと保育の会話…保育園の登り棒の話になって

（保）「登り棒できたことないんだ」

Aくん「えっ？！Aは子どものころにもうできてたよ。」

5歳のAくんはもう子どもではない！のですね

2歳Bくん

（保）「風がびゅーびゅーいってるね」

Bくん「雨もザーザーいってるよ」

1才からはるっこに来てるBくんともうこんなやりとりできるなんて、嬉しいなあ

4歳Cくん

Cくん保育士に「くろあめ好き？食べな」

自分のおやつを差し出してくれました。そして…

「大きくなったら何になりたい？」

なんか楽しいな♪

6歳Dさん

（保）「サンタさんにプレゼント、何お願いしたの？」

Dさん「ないしょ」

そうだよね、本当にたいせつなものはそう簡単に人には言えないよね。

ポイしてきてね

1歳Eくんに、「これポイしてきて」とごみ捨てをお願いすると、どんなに離れていても立ちあがり、足を大きく開いて左右に揺れながらヨチヨチと歩き、ごみ箱のところに行ってはポイ！と捨ててくれます。そして、必ず保育士の顔を見て、それから自分の顔の横で拍手をします。保育士も嬉しくなって拍手します。その日はこれを何回やったことでしょう。こうして人は、人を信頼したり、自分に自信がもてたり、人の役に立つことが嬉しく感じたり、といったたいせつなたいせつな心の根っこを育んでいくのでしょうね、きっと。Eくんのとても嬉しそうな顔が私にそれを教えてくれました。

パチパチ

「バイキンがないか調べます」

4歳Fくんはお医者さんになって、保育士の子どもハナコちゃん（あん用）を診てくれます。採血するとき、ハナコちゃんが「どおして血とるの？」と聞くと、Fくんは、「バイキンがないかみるから」と教えてくれました。その日の2日前、採血で泣いていたFくんですが、採血の前に保育士が話してたことを理解していたのですね。更に、ハナコちゃんが「痛かったら泣いてもいいの？」と聞くと「いいよ」と優しく言ってくれました。

♡おかあさんへ♡

はるっこお迎えの時、お子さんが朝の様子とは違って元気で楽しそうに遊んでいるのを見ると、おかあさんは驚かれ、元気なのに預けてしまって…と恐縮されることがあります。でもそれでいいんですよ。楽しく遊んでいると免疫力もアップして、みるみる元気になることがあります。はるっこは遊んで元気になるところ、それでいいんです。

♪おまちしています　ご意見　ご感想　スタッフまで